

コンピュータチェック事例コード

48SJ990892201

コンピュータチェック内容

オペガン1.1眼粘弾剤1% 1.1mL等の算定があり、同日に角膜移植術等の算定がない場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

医薬品添付文書の効能・効果に白内障手術・眼内レンズ挿入術・全層角膜移植術における手術補助と記載されています。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

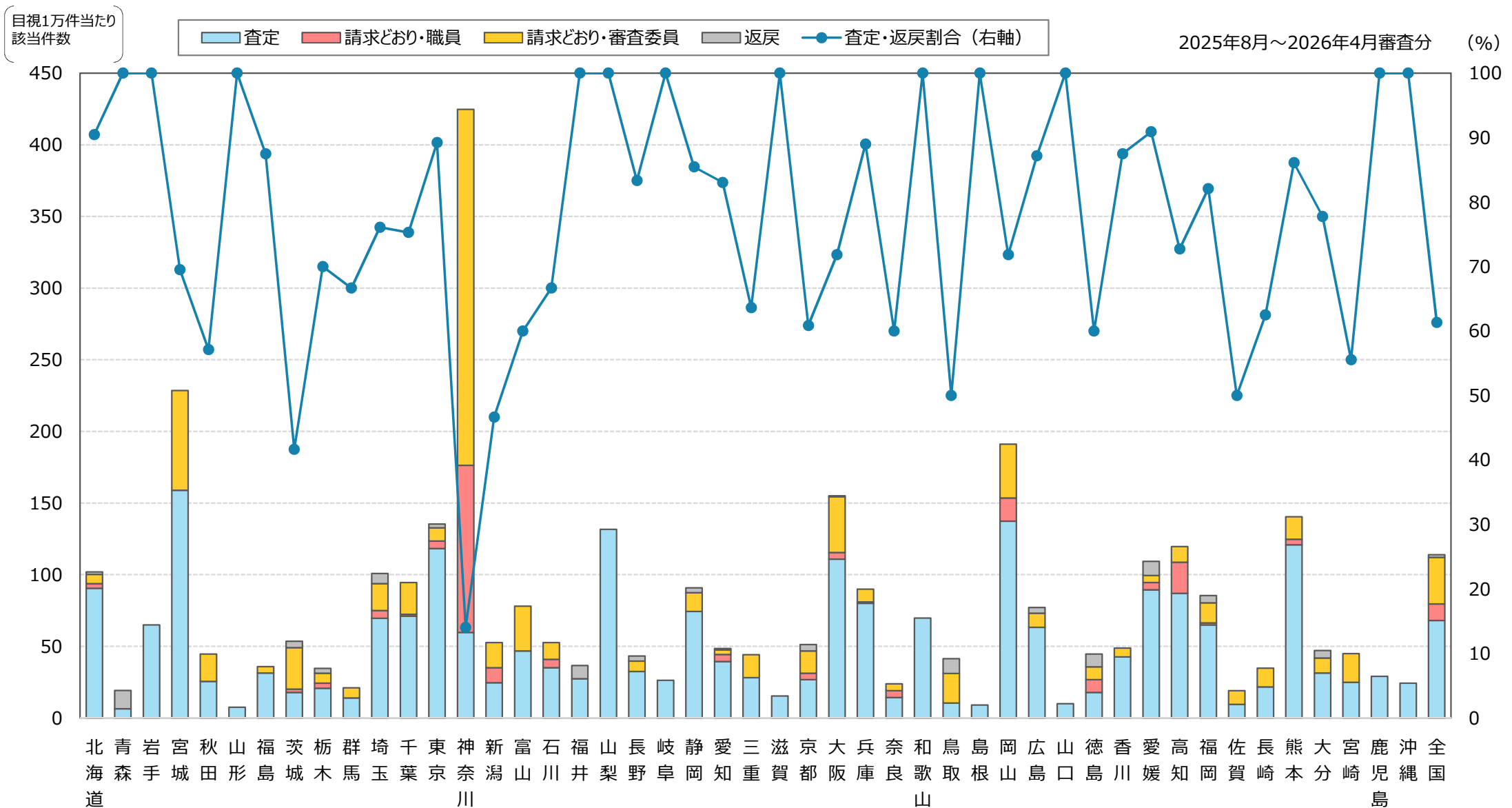
➤ 全国の査定・返戻割合 61.35%

➤ 検証対象都道府県 26

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	神奈川、茨城、新潟、鳥取、宮崎、秋田、富山、奈良、徳島、京都、長崎、三重、石川、宮城、岡山、大阪	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	神奈川、高知、岡山、新潟、徳島、石川、埼玉、東京、奈良、大阪、京都、熊本、茨城、福岡、千葉、兵庫	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	神奈川、宮城、大阪、岡山、富山、茨城、千葉、鳥取、宮崎、秋田、埼玉、新潟、三重、熊本、京都、福岡	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	2,339件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,435件
		904件



該当件数	63	3	5	82	7	1	8	24	10	6	113	85	362	655	15	15	9	4	14	12	8	55	59	11	3	23	270	91	5	10	4	1	71	39	2	5	8	22	11	67	2	8	36	9	9	8	9	2,339
請求どおり件数	6	0	0	25	3	0	1	14	3	2	27	21	39	563	8	6	3	0	0	2	0	8	10	4	0	9	76	10	2	0	2	0	20	5	0	2	1	2	3	12	1	3	5	2	4	0	0	904

【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数